
遊戯王 マイ・ストーリー THE・DARK・STORY

閃牙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王 マイ・ストーリー THE・DARK・STORY

【Nコード】

N3379Z

【作者名】

閃牙

【あらすじ】

死したはずの俺。

だが蘇ったからこそ精霊に再会したい。

俺の世界の裏の物語。

俺が求めるのは唯一つ……。

プロローグ

雨が降っている。

雨は嫌いじゃない。

彼女と和解した大切なものなのだから。

だからと言って好きと言うわけでもない。

俺にとって、記憶の中にある雨は残酷な最後だったから。

「……………」

雨の中俺は家に向かっていた。

家で彼女を待たしているから。

彼女と戦うデッキとは別に、もう一つのデッキを持っている。

そのデッキで大会に望み、そして勝ち、帰ってきたのだ。

「3週間って言うけど……………案外長かったな」

俺は雨の中1人呟く。

人によっては短いだろうし、長い人もいる。

俺にとって3週間はあまりにも絶望的だった。

「でも大丈夫。……………これからは彼女『精霊術師 ドリアード』に一緒にいられるから」

俺は家に彼女を置いておいた。

何かがあつてはいけないという理由で。

もしかしたら精霊界に帰っているのかもしれない。

……………心配ない。

俺が彼女を守るんだ。

愛を誓った相手を俺は守れる自信はないけれど。
俺はそう心に誓っていた。

その約束を守らなければならないのに……。

俺はこの世を16歳というあまりにも短い人生を閉じた。

あれから5年という月日が流れていた。

俺は死んだと思っていた。

だが生きているのだ、まだ。

それとも殺されたというのは夢だったのか？

……今はそんなことよりもドリアドに会いたい。
起きて、彼女に……誓うんだ。

永遠の愛を。

「……ん」

ようやく体があるということに気がつく。
ふかふかのベッドで俺は目を覚ました。
どうしてベッドに寝ているのだろうか？

「ようやく起きたようね」

「……？」

女性の声が聞こえる。

体を起こし声が聞こえたほうを見る。

そこには仮面をつけ紫白い髪をしている。

真紅の服に身を染めたこの女性が人間ではないとすぐに気がついた。

「…………誰だ」

「私は『カオス・ハンター』。まあ見ての通りだけどね」

見ての通りと言われて分かるわけがないだろう。

眠っている間にどうやら世界が変わってしまったように感じる。

「何故俺は生きている？ダメだろ？死んだ人がこんなところにいた
ら」

「まあね。はい」

自分の足のふとももとある服が手渡される。

黒いマントに右半分が白、もう半分が黒の仮面。

そして黒い服と黒いズボンだった。

「とりあえず着替えたら？私の主に報告しなくちゃいけないから」

「……………」

俺は自分の姿がパンツとシャツだということに気がついていていた。
だから布団をどかすのは少し恥ずかしい。

「あら？どつしたの？」

「出てけよ。着替えられない」

「はいはい」

彼女は部屋から出て行った。

俺はすぐに布団から出て着替える。

「……」

着替え終わり仮面をつけようとしたとき、自分の体に変化があることに気がついた。

16歳の体ではなく21歳の体であった。

「……馬鹿らしい」

正そう呟き仮面をつける。

仮面がある理由は知らないが、着けるといふのなら着けるだけだ。

着替え終わり部屋を出る。

どこかの城だと思える構造をしている。

「あらはやいわね。こつちよ」

彼女に連れられ、俺はただ歩いた。

何も分からないのだから情報を得ることがまず先決だからだ。

彼女連れられている途中、ここがどこなのかが分かった。

『ジャイアント・オーク』やら『デーモン・ソルジャー』がいる。1体だけじゃなく複数体も。

なるほど…ここは精霊界か。

たしかドリアードに教えてもらったことによると……。人間と同じように生き交流している。

また俺がドリアードのマスターになったときは、その人間を『精霊のデュエリスト』と呼ばれていたな。

今ではもうどうでもいいんだけど。

そして一つ、俺とドリアードは禁じられていることをしてしまっている。

お互いに想い、愛し合っているのだ。

これは人間でも精霊でもあつてはならないことだという。

そんなこと言われなければ分からないし、言われて納得いくようなことではないのだがな。

「……」

考え事をしている間にどうやら主の前に着いた様だ。

一体俺に何をやらせるつもりなのかな……。

だが俺は絶対に彼女の元に戻ると決めたんだ。

この身が滅ぶ前に……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3379z/>

遊戯王 マイ・ストーリー THE・DARK・STORY

2011年12月11日17時57分発行